

誰もが抱える悩みを。パッと解決！

福田貴一先生の



早稲田アカデミー
教育事業本部副部長
福田 貴一

福が来るアドバイス

「受験シーズン」に思うこと

「合格短冊」の意味

帰国生入試などは年内から始まっていますが、首都圏中学入試の本格的なスタートは1月10日から始まる埼玉県私立中学入試となります。その後、1月20日からは千葉県の私立中学入試が始まり、2月1日に東京都・神奈川県私立中学入試が始まります。

早稲田アカデミーの校舎にいらっしゃったことのある方は、合格者の氏名や合格校などを記した短冊状の掲示物をご覧になったことがあるのではないのでしょうか。生徒・保護者様に事前にご同意いただいで掲示している、通称「合格短冊」です。

「合格短冊」を掲示するのは、頑張って合格を勝ち取った受験生本人の健闘をたたえるためです。

いよいよ「受験シーズン」となりました。毎年この時期になると、目の前の受験生たち、そしてかつての教え子たちの姿を通して、「受験」というものの意味についてあらためて考えさせられます。入試本番を迎えるまでには、つらいこと、苦しいこと、悩ましいこと、それでも「志望校」という大きな目標に向かって真剣に努力する経験は、その先の人生に必ず生きる……。私は、そう信じています。

とが、学習のモチベーションにつながっていくのです。

いずれ「受験シーズン」が変わる……？

1月・2月に「受験シーズン」を迎えるのは中学入試だけではありません。「大学入学共通テスト」に象徴されるように、現代の日本では1月・2月がさまざまな入試においての「受験シーズン」という位置付けになるでしょう。その理由は、日本では4月に学校が始まると定められているからですが、一方海外では9月に学校年度がスタートする国が多いようです。私の父は以前スウェーデンの大学に勤めていたのですが、そのときも9月新学期に合わせて赴任していました。日本では年度途中の赴任になるため、自分のゼミを最後まで指導できないことを、すいぶん気に

に掛けていました。

実は日本でも、明治時代には9月に新学期がスタートしていた時期があります。夏目漱石の『三四郎』でも、主人公の三四郎が初めて大学の講義を受けるのは9月です。ただ、その後日本の慣例的な「年度（会計年度）」に合わせて4月スタートに変更されたということです。

大学での研究がより多様化し、研究者や留学生の世界的な交流が一般的になった現代では、入学時期なども世界的な標準に合わせる必要があるのかもしれませんが、将来、「受験シーズン」

が変わる、ということもありえるでしょう。個人的には「卒業式・入学式は桜の季節に」というイメージがなくなってしまうのは、少し寂しい気もするのですが……。

大学入試の変化

「受験シーズン」になると、卒業生から連絡をもらうことがよくあります。多くの生徒は大学進学が決まったあとで報告の連絡をくれるのですが、なかには「入試の前に、もう一度先生の声が聞きたくなりました」と電話をくれる生徒もいます。「6年前に中学入試を終えた生徒たちが、また新たな次の目標に挑戦しているのだな」と思うと、私も励まされるような思いです。

そんな卒業生たちのことを考えながら、私も「大学入学共通テスト」の問題は注目して見たいです。私自身は大学受験の指導から離れて久しいので正確な分析ができるわけではないのですが、「大学入学共通テスト」が変わってから「新傾向」と呼ばれる問題が増えてきているように感じています。そして、それらの「新傾向」の問題のなかには中学入試に近いものが多いように思います。数学では中学入試算数の「場合の数」で解ける問題がよく出題されていますし、設定が旅人算に近い問題が出題されたこともあります。2022年の国語では宮沢賢治の『よだかの星』を扱った文章も出題されていました。中学入試を経験した受験生のなかには、「懐かしい」と感じた人もいたのではないのでしょうか。

受験で得られるもの

私は進学塾の講師ですから、「生徒の成績を伸ばして合格させる」ことに全力を注ぎます。もちろん生徒たちも、「憧れの志望校合格」のために、日々一生懸命頑張っています。

ただその一方で、受験に向けて努力を重ねることで得られるものは「合格」という結果だけではない、と毎年考えています。目標が高ければ高いほど、そこに向かう過程には厳しさや苦しさがあるはずです。ときには涙を流したり、逃げてしまいたくなったりすることもあるでしょう。その「涙」や「弱気になった自分」を振り払って、もう一度前を向き、最後まで諦めずに目標を追い続ける経験こそが受験生を大きく成長させるのだと、私は考えています。



福田 貴一の
四つ葉café 公開中!

中学受験をお考えの小学3・4年生のお子様をお持ちの保護者様のためのブログです。

早稲田アカデミー
教育事業本部
副部長
福田 貴一

著書に『中学受験 身につくチカラ・問われるチカラ』（新星出版社）。ブログでは、学習計画の立て方、やる気の引き出し方、テストの成績の見方、学校情報など、中学入試に関するさまざまなことについて書いています。

詳細はWebをご確認ください。

早稲田アカデミー 検索

おの二次元コードを読み込んでご確認ください

スマートフォンのみ